



第 99 号

発行人
 (一財) 福井県剣道連盟
 会長 片山 外一

事務局
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
 サンライズニの宮 1-B
 TEL・FAX (0776)28-6616
 メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp

男子は林田匡平選手が連覇 女子は大西ななみ選手が初優勝 福井県知事杯第十五回福井県剣道選手権大会

平成三十年七月八日(日)
 於 福井県立武道館

七月八日に福井県立武道館で開催されました「福井県知事杯 第十五回福井県剣道選手権大会」の試合結果は次のとおりです。

男子は林田匡平選手(学剣連)が二年連続二回目の優勝、女子は大西ななみ選手(学剣連)が初優勝を飾りました。



優勝した林田匡平選手と大西ななみ選手

男子の部優勝の林田選手は十一月三日に日本武道館で開催される第六十六回全日本剣道選手権大会、女子の部優勝の大西ななみ選手は九月二十三日ホワイティング長野市真島総合スポーツアリーナで開催される第五十七回全日本女子剣道選手権大会の福井県代表選手として、それぞれ選考されました。

林田選手は昨年の全日本選手権で三位、大西選手は大学三年生で出場した一昨年の全日本女子選手権で準優勝しています。今年も大いに活躍が期待されます。

また、開会式に西川福井県知事のご臨席を賜り、式前には福井国体の強化指定選手たちを激励されました。

○男子の部

- 優勝 林田 匡平(学剣連)
- 二位 金子 亮介(県警察)
- 三位 内藤 洋(県警察)
- 三位 梅田 圭仁(学剣連)

○女子の部

- 優勝 大西 ななみ(学剣連)
- 二位 堤腰 琴菜(敦賀地区)
- 三位 山川 咲愛(敦賀地区)
- 三位 山田 聖子(越前地区)



片山外一会長から激励のご挨拶



西川一誠福井県知事からご祝辞をいただく



名誉顧問の稲田朋美衆議院議員からも激励の言葉をいただく



白熱した試合の模様



開会式前に西川知事が福井国体の強化指定選手たちを激励



林田匡平選手が日本代表に選出 第17回世界剣道選手権大会 (9月・韓国)

全日本剣道連盟は六月十八日に「第17回世界剣道選手権大会(九月十四日〜十六日 韓国・仁川市)」に出場する日本代表男女各10人を発表し、本県の林田匡平選手が選ばれました。

七月八日の福井県剣道選手権大会の開会式に先立ち、林田選手の健闘を祈り本連盟の片山会長から激励金が手渡され、林田選手が大会での活躍を誓い、力強い決意を述べました。林田選手は、筑波大学4年の平成二十七年に全日本学生選手権大会で



優勝、昨年は全国教職員大会個人戦高校大学教育委員会の部で初優勝、全日本選手権大会で三位入賞を果たしています。



大会報告(行事報告)

平成三十年度全国健康福祉祭 ねんりんピック剣道交流大会 福井県予選会

平成三十年四月一日(日)

於 越前市武道館

本年十一月に開催される「第三十回全国健康福祉祭とやま大会 ねんりんピック富山2018」出場選手の予選会が、四月一日(日)に越前市武道館で行われました。

その結果、次の方々が十一月三日から五日まで富山県砺波市で行われるねんりんピック大会に出場されます。

- 監督 坂田 豊嗣(坂井地区)
- 先鋒 惣次 勇(福井地区)
- 次鋒 宮川 保則(越前地区)
- 中堅 小堀 勝広(三方地区)
- 副将 尾形 言成(越前地区)
- 大将 坂田 豊嗣(坂井地区)



※70歳以上の部で一位の四ツ木善一選手(南条地区)が出場を辞退されましたので、同二位の坂田豊嗣選手(坂井地区)が出場します。

第17回宮本武蔵顕彰「お通杯」 女子剣道大会福井県選手選考会

平成三十年四月一日(日)

於 越前市武道館



本年十月に開催される「第17回宮本武蔵顕彰「お通杯」女子剣道大会」の福井県選手選考会が、四月一日(日)に越前市武道館で開かれ、

次の方々が十月十四日に岡山県美作市で開催される本大会の出場を決めました。

選考会には七人が参加し、二つのグループの各リーグ戦一位と、二位同士による三位決定戦の勝者が県代表に選ばれました。

- 先鋒 伊藤 藍子(坂井地区)
- 中堅 橋本 一美(坂井地区)
- 大将 谷口 典子(越前地区)

平成三十年度 福井県 高等学校春季剣道選手権大会

平成三十年四月二十二日(日)

於 敦賀市立体育館

四月二十二日に敦賀市立体育館において開催されました「平成三十年

度 福井県高等学校春季剣道選手権大会」の試合結果は次のとおりです。

○男子団体

- 優勝 敦賀高校
- 二位 敦賀気比高校
- 三位 啓新高校
- 三位 丸岡高校

○女子団体

- 優勝 敦賀高校
- 二位 丸岡高校
- 三位 高志高校
- 三位 福井工大附属福井高校



第36回全国道場対抗剣道大会 福井県予選会

平成三十年四月二十八日(土)

於 敦賀市立体育館

優勝 福井養正館

準優勝 越前少年剣道クラブ

福井養正館は、九月二十三日(日)愛媛県武道館にて行われます、第36回全国道場対抗剣道大会に出場いたします。



第32回福井県道場少年剣道大会

平成三十年四月二十九日(日)

於 敦賀市立体育館

小学生団体戦の部

優勝 王子保スポーツ少年団剣道部A

(越前市)

第二位 福井今立道場A (越前市)
第三位 木田剣道スポーツ少年団 (福井市)

第三位 福井養正館A (敦賀市)
第五位 敦賀市剣道スポーツ少年団 (敦賀市)



小学生男子個人戦の部

優勝 東海 来夏 (福井養正館)

第二位 山下 慶也

(王子保スポーツ少年団剣道部)

第三位 安達 一識

(木田剣道スポーツ少年団)

第三位 森池 秋良 (豊神館)

小学生女子個人戦の部

優勝 山田 優生

(福井今立道場)

第二位 崎元 惟香 (福井養正館)

第三位 西山 実咲

(鯖江志土樹館道場)

第三位 大西 羽末 (福井今立道場)

中学生団体戦の部
優勝 鯖江志土樹館道場A (鯖江市)

第二位 福井養正館A (敦賀市)

第三位 鯖江剣道団A (鯖江市)

第三位 鯖江剣道団B (鯖江市)



中学生男子個人戦の部

優勝 植村 啓吾

(木田剣道スポーツ少年団)

第二位 大和 泰雅 (鯖江剣道団)

第三位 田中 涼平 (敦賀市剣道スポーツ少年団)

第三位 奥村 龍也 (福井養正館)

中学生女子個人戦の部

優勝 木村真理子

(福井今立道場)

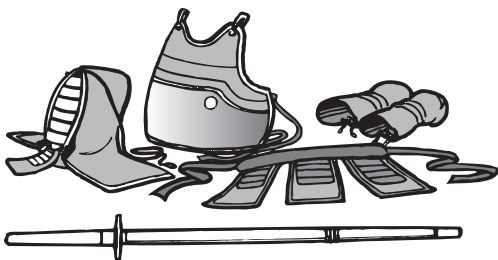
第二位 梅原 陽乃 (豊神館)
第三位 佐藤 心菜 (敦賀市剣道スポーツ少年団)

第三位 重永 花歩 (新風館愛宕坂道場)



左より

中学生女子個人 木村真理子
中学生男子個人 植村啓吾
小学生女子個人 山田優生
小学生男子個人 東海来夏



第66回全日本都道府県対抗 剣道優勝大会

平成三十年四月二十九日(日)
於 エディオンアリーナ大阪

四月二十九日にエディオンアリーナ大阪において開催されました第66回全日本都道府県対抗剣道優勝大会の試合結果は次のとおりです。

○試合結果

1回戦

福井県6	3	2	1	宮城県
谷口	ド	ド	—	高嶋
児島	—	—	ド	千田
富田	メ	メ	—	黒木
林田	×	×	—	武田
金子	ド	—	—	渋谷
畑	メ	×	コ	高沢
小辻	×	×	—	遠藤

2回戦

福井県1	1	4	3	愛知県
谷口	×	—	—	大串
児島	—	—	ド	山田
富田	—	—	メ	藤原
林田	メ	—	—	宮地
金子	×	×	—	木谷
畑	×	×	—	曾根
小辻	—	—	メ	中村

- 優勝 北海道
- 第二位 茨城県
- 第三位 広島県
- 第三位 熊本県

○出場選手

- 監督 堀江 範雄 (坂井地区)
- 先鋒 谷口 貴大 (敦賀高校)
- 次鋒 児島 歩 (福井工業大学)
- 五将 富田 成慈 (鯖江市)
- 中堅 林田 匡平 (福井地区)
- 三将 金子 亮介 (県警機動隊)
- 副将 畑 祐一郎 (鯖江市)
- 大将 小辻 淳二 (敦賀市)



平成三十年度 春季高等学校 総合体育大会剣道競技大会

平成三十年六月一日(金)〜三日(日)

於 福井県立武道館

六月一日から三日まで福井県立武道館において開催されました「平成

三十年度春季高等学校総合体育大会剣道競技大会」の試合結果は次のとおりです。

○男子団体

- 優勝 敦賀高校 (2年ぶり18度目)
- 二位 丸岡高校
- 三位 敦賀気比高校
- 四位 藤島高校



○女子団体

- 優勝 敦賀高校 (3年連続8度目)
- 二位 高志高校
- 三位 丸岡高校
- 四位 福井工大附属福井高校
- ※優勝校はインターハイ出場
- 四位まで北信越総体出場

○男子個人

- 優勝 谷口貴大 (敦賀高校)

- 二位 内田 大樹 (敦賀高校)
- 三位 中村翔太郎 (敦賀高校)
- 四位 小嶋 耀介 (敦賀高校)
- 五位 内田 駿哉 (敦賀高校)
- 五位 北方 一誠 (敦賀気比高校)
- 五位 川崎 叶也 (藤島高校)
- 五位 中村龍之介 (敦賀高校)



○女子個人

- 優勝 堤腰 琴菜 (敦賀高校)
- 二位 池田二千花 (敦賀高校)
- 三位 田辺 有羽 (敦賀高校)
- 四位 久保 渚 (敦賀高校)
- 五位 小玉 藍 (高志高校)
- 五位 田中 涼愛 (敦賀高校)
- 五位 山川 咲愛 (敦賀高校)
- 五位 貢 歩枝奈 (高志高校)
- ※優勝・二位はインターハイ出場
- 五位まで北信越総体出場

第31回福井県居合道大会兼 全日本居合道大会選考会

平成三十年六月三日(日)

於 越前市武道館

初夏とは思えない猛暑の中、標記大会が開催されました。午前九時半から開会式が始まり、玉村居合道部長が開会の挨拶を行い、三十一回を迎えた本大会の発展と、会員の益々の尚武を願いました。開催地である越前市剣道連盟の藤岡文男会長も来賓としてご挨拶を頂き「試合は唯抜く」：無心で試合に臨む大切さを説示されました。角裕幸審判長から試合上の注意に合わせ、当日の指定技が発表され、試合に移りました。

団体戦は、六チームが三チームずつ、予選リーグを行い、リーグ一位同士で決勝戦が行われました。四段以上の人が審判に当たり、技の正確さ、心の落ち着き、気迫、目付、気剣体の一致、残心などを着眼点として、六分以内に指定技が間違わずに演武できているか判定を下していました。藤岡会長は午前中の団体戦を決勝戦まで熱心に観戦され、初めて試合形式の居合を見学して勉強になったと述べていました。

午前中に行われた団体戦に続いて、一二時四〇分から個人戦が行われ、初・三段の部から五段までトーナメ

ント戦が行われ、結果は次の通りでした。

団体戦

優勝 越前市剣道連盟Aチーム

(平山 聡、鎌田真之、松本敏夫)

次勝 越前市剣道連盟Cチーム

(山本なつみ、楠 敬宣、大嶋雅典)

個人戦

初・三段の部

優勝 中川 開人(鯖江)

三段の部

優勝 平山 聡(越前)

四段の部

優勝 長谷川翔平(越前)

五段の部

優勝 鎌田 真之(越前)



第56回北信越高等学校剣道大会

平成三十年六月十五日(金)

〃十七日(日)

於 新潟市鳥屋野総合体育館

六月十五日から十七日に新潟市鳥屋野総合体育館において「第56回北信越高等学校剣道大会」が開催され、敦賀高校が女子団体で優勝、男子団体で準優勝を果たしました。

女子個人では山川咲愛選手(敦賀高校)が優勝、田辺有羽選手(敦賀高校)が三位入賞し、男子個人でも谷口貴大選手(敦賀高校)が三位入賞しました。

また、団体の部で中村翔太郎選手(敦賀高校)、田辺有羽選手(敦賀高校)が優秀選手に選ばれました。試合結果は次のとおりです。

〇男子団体

予選リーグ

敦賀 3勝1敗

丸岡 (決勝トーナメントへ)

敦賀気比 3勝1敗

藤島 (決勝トーナメントへ)

丸岡 3勝1敗

敦賀気比 0勝4敗

藤島 1勝2敗1分け

決勝トーナメント

準々決勝

準々決勝

敦賀 4-1 金沢桜丘(石川県)

丸岡 2-3 龍谷富山(富山県)

準決勝

敦賀 2-1 龍谷富山(富山県)

決勝

敦賀 1-3 新潟明訓(新潟県)

敦賀 準優勝



〇女子団体

予選リーグ

敦賀 4勝0敗

高志 (決勝トーナメントへ)

2勝2敗

(予選リーグ敗退)

丸岡

3勝1敗

(決勝トーナメントへ)

福井工大福井

3勝1敗

(決勝トーナメントへ)

決勝トーナメント

準々決勝

敦賀

2-0 羽咋 (石川県)

福井工大福井

3-2 丸岡

準決勝

敦賀

4-0 福井工大福井

決勝

敦賀

3-0 五泉 (新潟県)

敦賀 優勝 (2年連続2回目)

優秀選手

男子 中村翔太郎 (敦賀)

女子 田辺 有羽 (敦賀)

男子個人

三位 谷口貴大 (敦賀)



女子個人

優勝 山川咲愛 (敦賀)

三位 田辺有羽 (敦賀)

ベスト8 池田二千花 (敦賀)

福井県居合道講習会の開催

平成三十年七月十五日(日)

越前市武道館 剣道場

連日の猛暑の中、居合道の講習会が開催されました。今回の講師は石川県剣道連盟から、全剣連居合道委員を務められる範士八段中村正人先生と、教師七段木村正仁先生のお二人です。

最初に玉村居合道部会長の挨拶と講師紹介があり、中村先生から講習会に臨む心得、ポイントについて講話がありました。

また今回は、ベルギー剣道連盟の錬士七段ブルビエ・フィリップ先生が講習生として参加されました。ベルギー在住ながら、奥様が小浜の出身で里帰りの折、講習の件を知り参加されたものです。



十八名の講習生は、スローモーション稽古で体ほぐしと基本通りの抜き方確認しながら十二本の全剣連居合を抜きました。つづいて今年度全剣連居合道委員会へ、新たに

決められた確認事項の説明があり、各技に共通した軸足の確実なさばき方、仮想敵を意識した目付、気剣体の一致の仕方など、大切なポイントの実技指導を受けました。

午後の講習の最後に、八月に段位審査を受ける予定者の模擬審査で稽古納めをして講習を終えました。

みんなの広場

坂井剣道スポーツ少年団

昭和63年に創設され、今年で30周年を迎える坂井剣道スポーツ少年団。紫紺の団旗「錬磨」の二文字を掲げ、



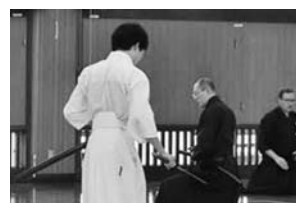
豊福安治先生をはじめとする先生方の熱心なご指導のもと、日々の稽古に励んでいます。創設当時は約50名いた団員も、増減を繰り返して現在10

剣道部・クラブ紹介

名ですが、少数精鋭で頑張っています。

時には中学生や高校生も、勉強や部活の合間を縫って稽古に参加してくれています。また、かつての団員が指導者として戻ってきてくださっています。現団員も、そんな先輩方の背中を見て、多くのことを学び、年齢関係なく和気あいあい、かつ切磋琢磨しながら、充実した稽古に取り組んでいます。

基本を重んじ、真面目にコツコツと、少しずつではありますが着実に力をつけてきている坂井剣道スポーツ少年団。これからも「錬磨」のごとく技を磨き、心身を磨き、大会でのさらなる上位入賞を目指すとともに、日々支えて下さるたくさんの方々への感謝を忘れずに精進していきたいと思えます。



剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成三十年五月十三日(日) 於 福井県立武道館

「初段」 五十一名

- 笠嶋 佑恭 (灯明寺中1年)
齋藤 大晟 (鯖江中2年)
赤間 勇紀 (灯明寺中1年)
江藤 稜太 (成和中2年)
田中 悟史 (丸岡中2年)
富田 寛文 (森田中2年)
木下 和芭 (高浜中2年)
加藤 諒也 (三国中2年)
古市 直大 (森田中2年)
北出 一護 (丸岡中2年)
南部 鷹太郎 (大東中2年)
高津 悠輔 (森田中2年)
山下 晴人 (丸岡中2年)
伊藤 圭星 (北陸中2年)
高木 矢馬翔 (美浜中2年)
廣瀬 瑛大 (松岡中2年)
塩見 翔太 (成和中2年)
瓜生 拓望 (武生六中2年)
安原 響希 (丸岡中2年)
倉内 涼輔 (武生一中2年)
杉田 将大 (丸岡中3年)
羽柴 宗胤 (朝日中3年)
塚田 康祐 (藤島中3年)

「二段」 四十名

- 柳川 幸輝 (松陵中3年)
山本 賢生 (朝日中3年)
佐々木 一帆 (坂井中3年)
横山 雅空人 (丸岡南中3年)
久司 和樹 (森田中3年)
吉村 拓海 (坂井中3年)
脇田 稜平 (丸岡南中3年)
梅村 哲生 (中央中3年)
石井 智也 (坂井中3年)
坪田 誠生 (坂井中3年)
福岡 大地 (足羽一中3年)
諸木 駿介 (福井高1年)
平田 慈将 (調理師)
師田 萌花 (武生一中2年)
岡田 歩香 (足羽一中2年)
長谷川 もえ (松岡中2年)
平本 智夏 (足羽一中2年)
上口 陽菜 (森田中2年)
川原 美優 (足羽一中2年)
小谷 奏夢 (武生一中2年)
吉田 汐音 (松岡中2年)
吉川 実咲 (足羽一中2年)
近藤 ひより (春江中3年)
豊島 ひなた (明倫中3年)
知念 美海 (森田中3年)
高橋 紀生 (福井高1年)
前田 絢翔 (大東中3年)
松藤 脩二 (松岡中3年)
牧野 諒太郎 (武生一中3年)
竹澤 礼 (中央中3年)

「三段」 六名

- 北林 慶太 (春江中3年)
山田 浩仁 (勝山中3年)
中村 和敬 (朝日中3年)
吉田 瑛博 (北陸中3年)
吉田 陸人 (中央中3年)
大橋 悠生 (中央中3年)
熊田 悠太郎 (鯖江中3年)
前田 怜音 (丸岡中3年)
水野 颯太郎 (南越中3年)
高井 凱斗 (高志中3年)
吉田 瑠惟 (武生一中3年)
富田 光星 (越前中3年)
八木 俊太郎 (大東中3年)
森下 壮志 (鯖江中3年)
宮崎 帝世 (森田中3年)
天谷 蓮 (中央中3年)
林 尚樹 (福井高1年)
早川 大喜 (福井高1年)
橋本 弥志 (福井高専2年)
谷崎 一天 (武生高2年)
杉山 喜基 (福井大5年)
梅原 陽乃 (武生一中3年)
東 舞優 (森田中3年)
山崎 萌絵 (菅原中3年)
古市 暖乃 (森田中3年)
前田 みずき (菅原中3年)
谷田 ひより (森田中3年)
砂長谷 結羽 (菅原中3年)
清水 結菜 (菅原中3年)
田中 彩花 (森田中3年)
笹原 唯莉 (菅原中3年)
後藤 理緒 (森田中3年)

「四段」 四名

- 前阪 樹宏 (福井工大3年)
内山 田朋弥 (教員)
木瀬 将盛 (会社員)
山崎 義尚 (団体職員)
入江 彰伸 (会社員)

「五段」 一名

- 川端 心愛 (啓新高2年)
宮本 樹里 (啓新高2年)
五十嵐 日向子 (啓新高2年)
伊藤 素良 (啓新高2年)
志尾 陽章 (藤島高2年)
後藤 真之介 (藤島高3年)
宮本 政和 (公務員)
五十嵐 悠未 (金津高3年)
板倉 楓都 (高志高3年)
堀江 麻衣 (金津高3年)

称号・六段以上合格者

- 剣道錬士 藤巻正紀 (福井)
剣道錬士 宮本徹也 (福井)
剣道錬士 田中秀幸 (福井)
剣道七段 竹内健 (坂井)
剣道七段 堀江ユミ (坂井)
剣道六段 中野利彦 (敦賀)
剣道六段 村田浩二 (福井)
剣道六段 角野弘 (敦賀)
剣道六段 山田英典 (越前)
剣道六段 山田聖子 (越前)

ペンリレー

女性剣士の部屋

就職や結婚、また出産などによって途中何度かブランクはあったものの、気がつけば剣道とは三十年以上の付き合いになります。手が痣だらけになる、筋肉がついて二の腕が太くなるなど、女性が続けるには少々難のある剣道ですが、どちらかと言うと飽き性の私が、なぜこれほど長く剣道が続けることができたのか、今回このような機会を与えていただきましたので、この場を借りて改めて考えたいと思います。

まず、この「女性剣士の部屋」でも多くの方が書いておられるように、大人になつてからの剣道は実に楽しいのです。勝負のプレッシャーもなく、自分のペースや考えで自由な剣道を純粹に楽しむことができますからだと思えます。また剣道は年齢に左右されにくく、むしろ歳を重ねることよつて得た経験がプラスに働く生涯競技ですので、そんな剣道の懐の深さやスポーツ科学では割り切れない奥深さに大きな魅力を感じていることも剣道を続けている理由の一つです。

冬は貼りつくほど冷たい床の上で、また夏は熱中症インジケーターが振り切れる

福井大学 嶋 崎 さおり

るほど蒸し暑い室内で修練に励む剣道は、手軽に楽しむことができる他のスポーツとは異なり、厳しいものです。ですがその厳しさが人生の支えになり、また自分の弱さを補つてくれます。そのように、剣道を通して身についたものが人生で役立つと実感できるのも剣道の醍醐味だと思います。

少子化やサッカーなどの人気スポーツによつて剣道人口の減少が著しいと聞きます。剣道は日本特有の武道であり、日本文化の一つです。剣道の魅力を私たち一人ひとりが発信することで裾野が広がり、剣道人口の増加に繋がると思っています。これからも私なり剣道を楽しみながら、色々な角度で剣道の魅力を発信していきたいと思えます。



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616